氏名 常木 佳奈 所属 一般科目(文科系) 職位 准教授

職務	項目例	割合 【%】		活動内容			
教育	授業担当 卒業研究 専攻科研究 授業改善 教材開発 教科書執筆 など	計画	30	1. 本科一般7科目の授業を担当する。 2. STEAM教育と関連させながら、リベラルアーツ特論の教材開発を行う。			
		実績					
研究	自主研究 外部資金研究(科研費ほか) 共同研究 技術相談 論文・解説・著書学会等発表 特許など	計画	40	1. 研究課題「口絵デジタルアーカイブ拡充と明治期出版文化研究への活用」(科研費(スタート支援))を完了させる。長期休業中に、海外でのデジタルアーカイブ活動を実施する。 2. 本校専門学科教員との共同研究へ取り組む。 3. 1の内容を発展させ、科研費(若手研究)へ新規申請する。 4. データベース上で1の成果発信を行う。 5. 関連の学会で1・2の成果を口頭発表し、論文としてまとめる。			
		実績					
学生生活指導	学級担任 学生相談 課外活動指導 コンテスト指導 など	計画	5	1. ソフトテニス部およびダンス同好会顧問として、学内での活動指導と大会等引率を行う。2. 希望者に対して進路関係書類等の文章添削を行う。3. 希望者に対して「理工系学生科学技術論文コンクール」等の文章添削を行う。			
		実績					
務 / 管	主事, センター長, 室長 学科長, 委員長 学級担任 主事補, センター委員, 室員 委員会委員 など	計画	20	1. 企画主事補としての業務に取り組む(男女共同参画、国際交流等)。2. 1に加え、関連のワーキンググループ等にメンバーとして参加する。3. 国語科主任としての業務に取り組む。4. 学科ホームページ更新担当としての業務に取り組む。			
		実績					
社会活動	学会での活動 公開講座 出前授業 男女共同参画 国際交流活動 学外団体活動 など	計画	5	1. 公開講座等、担当できるものがあれば積極的に担当を希望する。			
		実績					

教員業務内容報告書

報告者氏名 常木 佳奈 所属 文科 職位 准教授 報告年度 令和5年度

分		計画		実績	=1 +1\ == == E
野	エフォート	内容	エフォート	内容(計画からの変更点)	記載事項例
教育	30	【担当科目】 ・国語1(1年生)4単位×2.5クラス ・リテラシー実践(3年生)2単位×2クラス ・リベラルアーツ特論(4年生)1単位×前期・後期 【内容】 国語1では、評論文のほかに、小説や古典の読解をとおして、日本語力の基礎を身に着けることができるよう、指導を行う。リテラシー実践では、前期は難解な評論文や小説の読解と意見文の執筆、後期は実用的な文章と小論文の執筆をとおして、ことばによる表現・理解力を高めることができるよう、指導を行う。あわせて「理工系学生科学技術論文コンクール」への応募を呼びかけ、希望者に個別指導をする。リベラルアーツ特論(デジタル人文学)では、論文のレビューやデータベースにかんする議論をとおして、人文学研究の意義を正しく理解できるような授業を展開する。	15	計画通り実施した。	担当科目名· 単位数 卒文文章 李文学生数 尊一等 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李
研究	35	【内容】 口絵デジタルアーカイブ拡充と明治期出版文化研究への活用 【成果発信等】 ・口絵ポータルデータベースの拡充 ・バーチャルミュージアムの整備 ※以上の研究活動を現在採択を受けている科研費(スタート 支援)をもとに実施する。	20	バーチャルミュージアムの整備はストップしているが、 そのほかは計画通り実行した。 計画に加えて、論文1件 (査読無)・書籍紹介1件を 学術雑誌へ掲載できた。 また、博士学位論文を提出 し、学位を取得した。	論著総字 文書。 ・解説 字許同術報 表 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
学生生活指導	10	【クラブ顧問】 ・ソフトテニス部顧問(代表) ・ダンス同好会顧問 【コンテスト指導】 ・理工系学生科学技術論文コンクール (希望者を対象)	10	概ね計画通り実行した(なお、今年度はスケジュールの都合上、コンクール応募希望がなかった)。計画に加えて、進路関係書類等の添削を行った。また、クラブ指導に関連して、ソフトテニス2級審判員資格を自主的に取得した。	クラブ顧問 コンテスト指導
校務・管理運営	20	【主事補等】 企画主事補	50	企画主事補としての業務に加え、関連のワーキンググループ等にメンバーとして参加した(スタートアップ事業、STEAM教育強化事業、IR等)。 また、国語科主任や学科ホームページ更新担当としての業務も担当した。	主 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
社会活動	5	【所属学会】 日本近代文学会、日本出版学会 ※令和5年度は学会員として運営にかかわる予定なし	5	公開講座用教材の開発中 (来年度も継続)。	所属学会名 学会期 公開講座 出前授業 男女交流 男際原団体活動

⁽注)エフォートは各職務にかける(出力×時間)の割合(%)で表示、最小単位を10%あるいは5%とし合計100%となるように記載する。

⁽注)フォントのサイズは10pt~12ptとし、記入欄の行の高さは記入内容に合わせて変更する。